三五記

驚末

857
50

取扱注意
受入

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

857-50

三五記　未定

[illegible]種伝鄉乃いまく和この[illegible]隠遁せん
[illegible]れそそくしそうあ。[illegible]菩提ともそもし[illegible]
要路[illegible]ぜまおや。[illegible]を[illegible]
[illegible]くゆをぱ。[illegible]
[illegible]理[illegible]。おさ[illegible]
申給う。今これの[illegible]
一字[illegible]。如来[illegible]二十二
[illegible]相[illegible]と給[illegible]。如来[illegible]二十二和と

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

い面ともの、八二千一相なり。
無量見頂相ともさまざまに沢山の
数うゆゑにみなそれぞれ違ひて
千なりとも百ともいふ。三十一字やまとの
歌へ一字ともさまざまに句を合せ
なり。見れ病といふ
ますひの神と腰乃やまひ
れ句よやますひなり
胸ともいふ。

風輪ハ句千病なり
やまひなり。九二千一字ハ
ともいふ。それ三十一字ハ
歌ハ句ハ大不成ハ候ハ
歌ハ一首ハ
ハ百仏ハ
ハ一仏ハ
ハ百ともいふ。
ハ仏理ハ
ハ一首ハ
ハ百仏ハ
ハ百ともいふ。古賢
ハ人ハ

こと稽宝よ絶ゆることなく一家の事制をなすこと
のほか多よく教訓をもって次に文郷こと
き一生を多く生死、多くの人々心のそむくまじ
れの教をすべく、生涯誤
出離生死の要路
そまれびこのことを

得る後の世の多く抵ぶ
吉神社年集
里中さ教ふること年おほ東北
梁をもって
おおむね
帽子年白拂をこの
その
ここの事
てさうなる

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

侍る。いつ年志てまつる二十一字なり。
長歌や短歌や名だゝぜ。のうたよめる
ものゝ事。短歌は。
うたは。善く稽古して。
人いうれの事。
歌を短歌のこと中古(なかつこ)
は相傳(さうでん)せずして
うまれ付(つき)の事(こと)。不學(ふがく)
一字を忘(わす)れ事(こと)。二十
字(じ)を忘(わす)れ事(こと)。
なくなるまで忘(わす)れ事(こと)
なし。

の長歌(ちやうか)の中(なか)の一(いち)
字(じ)忘(わす)れなどする
ことなし。七(なゝ)七(なゝ)七五(なゝなゝ)
七(なゝ)七(なゝ)七五(なゝなゝ)
七(なゝ)七(なゝ)清(すみ)て書(かく)事(こと)
自(おの)ずから字(じ)の数(かず)をも
違(たが)へず。短歌(たんか)といふ
ものは。
要(よう)ず儀(ぎ)なり。中(なか)
乃至(ないし)有(あり)て年(とし)
うまれ人(ひと)なのまず
そもゝ事(こと)。

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

我さう歌ともて無念に侍る所
申すも愚なる義也根本をも詩よ
りこゝろをも言葉よりうつす事
歟。其ことわりをまもるべき
歟云々
第一風体
こゝろ詞をはなれずして
風体とりどりに二種乃
一には有心意風。それ
風躰比興雅頌等

歟ともろ〳〵の物ゝ
ふ難波津歌体
ふ古風。それ由緒又頭
事をよめるなり
すゑ集小野篁道
ふこの人。それ久しく
多くの事ありこの
ればいそのかみ寺
義。それのこと栢
け多女房。

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

せんやうへ御死去。なをもつて
せをもつて御葬礼(こもりね)おこなはれ候。
もつて女房衆のもとへ申こされ
とはなをもつて思ひ
寄(よせ)候間(まゝ)、書通(しょつう)それ返事
この節(もぐさ)言風(ごんぷう)卒
九重(ここのへ)雲あつて
おもひなされ
さて御書通(しょつう)拝見(はいけん)候。案内(あんない)
候ものかと申。この

せんやうを
日比(ひごろ)光座(こうざ)物
古物(こぶつ)星下(ほしくだり)半要(はんよう)言風(ごんぷう)
是(これ)風乃(の)
なるを意風(いふう)
器物(きぶつ)
前出(ぜんしゅつ)
こと後(のち)
いかゝ
宮(ぐう)

一おかをを度こと人ことに被ひ
ことまたるおいの年ことに後ことに信ことはれ多
また人ことまことに歌ことをことに歌なり。桐
傳云風ことをことに乃ことをそれ多通ことに次ことき
被ことを物ことを合ことく我れことれなり
ことことに多外ことに歌ことをさる
多れことや。いのなことに風事ことことの通。
甚ことれことれ我いことんことことく。このことを
おことことに人ことをことに風ことの
ことに申ことりことさことに文選ことをいことく。

光源ことに隣ことをいことに
なことく。多ことをことあ
申ことや
ことに多ことに人ことに
申ことや
第二賊ことに尋
ことに人ことに歌ことを申ことに
ことに毛ことをおことに人ことに
見ことをことれことに人ことをことを
志ことに墨ことの家ことに
ことをことに人ことに多ことに

相傳云。賊仕人共本
共大旨なりと一通よみ
先き一通。編執(へんしう)なき式者人とて
後ち通一。事れ後ち
まるあり後なり強く賊共
このと申通りや。の共(ともに)
を一切(いつさい)事後とこの
とを。一通一おりひ
なることよ先きあり後
を後ち人共ことを

私事ことを武(たけ)きよいまき者人ともいを教(おしへ)
のことを。一切共物事一通なこと
後ちと先きて通。教
事人とつを清後
共ことを又あの
後ちの多一門共
ろをこと後ちと
通。一通事後ちと賊のことや
通なり。

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

毛詩(もうし)ないそく賦(ふ)有(あり)無常(むじやう)そくし心(こころ)

第(だい)三比(ひ)并(ならびに)

なすごとく重(おも)きのみてい事(こと)するやう。ひ義(ぎ)

らべのごとくもとうけんのひ。比(ひ)二(ふたつ)ずゝ列顕(れつけん)比(ひ)こと

なり。一(ひとつ)ずゝ顕比(けんのひ)。二(ふたつ)ずゝ隠比(いんのひ)。ごとし。

こと言義比(ごんぎのひ)にてずゝ比(ひ)義神(ぎしん)ありて。ごと

義神(ぎしん)比(ひ)ずゝ。又(また)ずゝ全體(ぜんたい)比(ひ)をも

ずゝ。第(だい)二第(だい)三(さん)にいたるまで。比物(ひぶつ)比(ひ)ずゝ。

顕比(けんのひ)比(ひ)ずゝ。一事(いちじ)を二(ふたつ)ずゝに。

もつてするなり。

なりひさこをかたぶけて新(あら)き事(こと)ずゝの私(わたくし)ごと

忘(わすれ)給(たまふ)なかれ。ずゝの神(かみ)もちひ

これのせんこう侍(はべ)り。父(ちゝ)母(はゝ)の後(のち)をうもお

もひ年(とし)志(こゝろざし)ふかゝるべき事(こと)なり。

こせおもひ一(ひとつ)ずゝをわすれずゝ。

なりやうもちゐ二(ふたつ)ずゝ侍(はべ)り。

重(おも)ずゝ二(ふたつ)ずゝ重(おも)ずゝ

両(ふたつ)ずゝ重(おも)ずゝ重(おも)ずゝ

遠事(えんじ)なり。ずゝ神(かみ)ずゝ

ず。又(また)ずゝ

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

なりぬれとも春はゆくへもしらぬ事ゆへ又
の人數事すくなくなりぬれとも春
歟をも編額かけ申候事ゆへ又
もとのごとくのれもの多くなりぬ
額も編額も大なるおほくなりぬ
歌ども。言義(ごんぎ)比(ひ)とも大(たい)
二はく義と物ごとに見
表をかけさせられ霜(しも)おほいる
歌ども
歌ども
ひとのまもりやうもなくなりぬ
ひとのまもりやうもなくなりぬ

二世人義ありぬ。又乃字と又霜(しも)字
おもてこそ移(うつ)りぬれ。
多(おほ)は申(もう)多(おほ)移(うつ)りぬ
もれ字(じ)は多(おほ)
はの移(うつ)りを出(いだ)達(たち)をこれ義(ぎ)をやく多(おほ)
移(うつ)りぬ。この事(こと)を
きくやいなや云(いう)葉(は)ありぬ。
ん得(え)たり起(おこ)りぬ。
歌(うた)なり利(り)。又(また)
八事(こと)九字(じ)なりぬ。人(ひと)日(ひ)

字なるまゝ。清やかに
多く八年の齢を保ち
多く患ひ後に老さき
たるは霸者の潜やか
亡びやすく釋尊の
多病なるも。いづれ
なるも毫の約束。言義比事古今
梓弓手に
何をさゝへもつ
多せこう衣する

野亀九尺とも
徒年壽多き
申たることをすれ
義神比と申
まして、門
まで。義比
ひ多ら抽
いの年数
ひとをい
芸ら多
まは。義神比と申

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

筑紫の方を清盛に
さそはせ給ひしかども
なびかざりしを
義朝もれよりて
つゐに誅せさせ給ひぬ
和漢ともに
例すくなき
第一の
奸臣(たうしん)
多かる
中にも
此
義朝
清盛
一同
事
なり

家に悪をなす者を悪
その後世を治むるの
しるしこの
代をみだらんとする
人(ひと)
ありて
奉行
の
頼朝(よりとも)
義経
と
故郷(こきやう)
を
我
と
侍
り。
菊家(きくけ)
に
於
て
事
の
頼朝(よりとも)
二
の
心
頼朝(よりとも)
兄弟(けうだい)
の
義経(よしつね)
興(きやう)
と
いふ
この
後
も
又
兄(けい)
を
国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

行ふ事也。節会
時ハ杉樹ヲ本ニ
ス事ハ。真ノ
ス事ハ。真ノ
興ト申事。又真ヲ
壁ト真ヲ無宴ト書
なり。今ハ節　真ヲ
ル事ハ。時ノ杉ヲ
ヲ本ニせず。真ヲ
ハ。真宴ヲ
ハ。
ハ。
ハ。

あるを

第五雅致（ごがちち）

多くこのみていふ事

をもちうることをおもふ

一ときもてはなれ

いひくちをおかし

言雅（げんが）二ハ

いつのころ

よりいひ

そめしことにや

ふるきをこのみ

いにしへ

ぶりをこのむ

人もことなれ

又いまを

俗をおもふ物

多の中にも我も

意雅（いが）

こと

うと

武人（ぶじん）

中

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

なをゑこの
我玉
なうち玉ゑひう玉ふあわを人きいへを
春のうら我ひとうちうらうらかうまの
又有義云春ゐれひうちうらうらかうまの
神こ乃頌拳とな。こゑ殿とうちうらうらかうまの
義。こゑ殿とうちうらうらかうまの
明こうちうらうらかうまの。毛詩ゐ
ゐこれなうち我頌ゐ
ゐうち殿。こ我ちうらうらかうまの
なとおきつとうらゐやうらうらかうまの

実。顧昭ういてくぱこの志ゑ神州
云なのといへ栗。それ神へをこれ殿と
いゐ。大内をさーこゐ大宮
裏ハこ我神殿ゐうちうらうらかうまの
とを中を。文内とうちうらうらかうまの
照大神神ゐ也内ゐ侍ゐれ我
事なうへ我ゐうち。神ゐうちうらうらかうまの
我ゐうち。もべをとうらうらかうまの
栗ゐ年とうらうらかうまの
こうちうらうらかうまの

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

なり。日本紀に橋本経明神と書くべきなり。此神おはします事多きなり。又祭礼の夜神輿を秘術ありて海をわたりて、さて第一の神供の供物を擔ぎ出すなり。此事延喜諸社式内裏をいふなり。又橋本の家より神輿を擔ぎ出すなり。此事内裏にて擔ぎ出すなり。此事内裏にて擔ぎ出すなり。此事内裏にて

さて秋の成文、云ふ黄河なす年一澄ぷ賢士
千歳一おわしいまする人ぞ稀事ぞ。
なるべくおもや。七
種多義をおもふへきぞ。
こゝや我いもんとこ
うもや七乃字をおもふ七種のよ
や七乃字をおもふ七種のよ
申多
次さ紀ま申ふ多云神れもふ云歌
をおー申まふ給比さもへー。長寿と

申多常ふ二十一字云詠おすもと。
題ふのおふ申多ふ云ぷふのおふ次
多。又七又七五わふ称多申ふ
歌多一。出ふおよだふ。疑頭ふの
わ申多ふ。六句目ふ
初頭ふ古川聖ふまふふ
多我へふ又ふ二句切
折ふ次ふの
ふれそれふ
ふ申ふ

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

なんおもひなき事と云。これを
序題事油乃又といでをしむ所也
貫之之字佐比宮本参詣之事。歌
比神いのちなり事と新古今をえり。
夢多年一首比事とぞ。五人共事仙共
この比神事くせんこと書柳比猿丸
曲流をいふ歟。ご乃過序歌
曲流玄鶯は教とよまんをもるかう

序比ハ油さ一首比事也。題
比猿丸。題多ハ事比題なるも。題
を乃向ます事ハ。曲ともやさ一首
ハ。曲ともやさ一首比事也。真名序
うた事ハ。流多ハ又比流
歌をハ多入多ともやうくと
読なるをハ。この事共ハ。楽也。この
比うた事比事。又第二事自ハ

云葉共ん縁（えん）のこと
をすゑ葉。こま代縁（えん）
ゐの。ゑ一おゐをゑ
次（つぎ）をまゐを
くゑ縁（えん）。いの
拍（ひょう）子（し）をゑ
ゑゐゑ見ゑゐ。
下句（しもく）をれびや
ゐゑ句乃ゐや
葉。さ縁（えん）と墨（ぐろ）云
ゐ

葉ハさや一神ゐゑ
れびやの。上句（かみく）
と下句（しもく）一具（ぐ）
ゑ縁（えん）おゑ。次（つぎ）
事。ゐ発れ五文字（もじ）
文字（もじ）とれのよ（び）
ゐ中ゐ葉
次（つぎ）縁（えん）字（じ）
ことゑ。
ゑ

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

詞さていくさく縁字さく
せん首尾をかきつゞけ
いえ
如何。答さく此せんさく
おりゐれ七文字わさく
せん縁字さく申さく
字也。さくされ句乃さく
一句なひさく毎さく
次下親句わさく
ゐ。おりゐせん七文七さく
くさくさく。さく此せん
くさくさく

ちはやふる神是也
次下疎句わさく
字也。終せん七文七さく
一句二句さくなひさく
或人いさく親句わ
ゐ疎句まさく
ゐこと無
次ぎ神れ難せんさく
おゐさく長
のいさくさく

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

ふる二分平點をも七八ふり乃至
すゝもへ
次淨乃くれ等ます。
也共他家ゟ書家ゟ
の梨すゝ他家ゟ説をも我説を
年年ゟもせざる
うゝゟ書ゟ絶人
いゝゝ此のゝゝ哀傷
ゟ紀かゝ後多まゝて
後。

ゟ絶ゟ申れ
帝ゟ師師ゟ
をも経をも年秋
北園ゟ出をゟ
淨。の也ゟて
まゟ多ゟの。
何ゟ楽ゟさゟ
絶。我乃おゟ
申多。
ゟへをゟ

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

帝まうくおりゐまして
人麿を天代帝日嗣
のや。又帝此中ますは
乃事とよ見ゑ歌神
法ゑとうや申ゑ多ゑ
間人麿ゑ官位ハなよ
答或抜てゐまく。金
廣。前蓮ゑ府槻門
金紫黄緑ゑ。神師
蓮ゑ府槻門ハ時乃官位ゑ唐名やや

いふ。こゝに人々あつまりて妙音菩薩乃往昔
わたりたまへるを拝相傳云。こゝに経ありて故金吾君ご
父殿より古今をきゝ給ひて
六事ありて両度まで拝さゝれ給ひて。
両度ともに海路をへて海路
ありし次第。海路
海路にて拝ありて申をのこりなく
をきゝ傷みなげき申をも。
海路にて拝ありて申をのこりなく
をきゝ傷みなげき申をも。

人世の事をよく物ごゝろえたる
ものは人を送りまたなどしてゆうべ私をそゝ
ぬのまゝなる人おほく候。いのち
海路乃至は
ものごゝろ無上大事なり。
さほどに経のきこうる事にて
候。さ候人
事かぎりなき事なり。これのみと海
路乃至深秘なり
なり。人丸
申人別なり。

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

[illegible]天子を人丸と申ことは
[illegible]やうな事。或人世々秘説[illegible]
[illegible]多事。相傳云。こう統[illegible]
[illegible]ひさしきことをも[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]甚[illegible]
[illegible]出来[illegible]多[illegible]人[illegible]
[illegible]記録[illegible]を[illegible]
[illegible]や[illegible]申[illegible]
當世好士一夜人[illegible]
[illegible]なり。此条全[illegible]

[illegible]亡父卿[illegible]を告[illegible]
[illegible]ぬ。これ[illegible]
[illegible]を申[illegible]
[illegible]
[illegible]多[illegible]
[illegible]
[illegible]

遠さこの条ますく。陸奥の人九七二人
法度を犯人の条ますく。三七郎殿の
思召ますく。拙者御供仕
候人数。人麿ことわ
者ども召連ます。
両度海路ますく
ず候。ますく書状一通ずつ
とやら筆とも我
候。この事ますく
候。

山名赤人共ことを様ことを申たり。
ますく拙者ども別
人九七墨名ますく
候。赤人ども多候。
候。当家ます。勿論
人九七赤人ども名別九人ずつ
多ますく候。
ら思事おますく
う思人ごとく候。
と無ますく
陸ますく

不便(びん)なる事也。然(しかる)を大切(たいせつ)なる事ゆへ、又(また)実(じつ)を其義(そのぎ)に応(おう)じ、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)は、勝劣(しょうれつ)なき事を、先輩(せんぱい)は、同等(どうとう)なる事ゆへ、多分(たぶん)中(なか)より多分(たぶん)へ、古今(こきん)序(じょ)に、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)の事を、おなじ様(やう)に書(かき)たるも、勝劣(しょうれつ)なきゆへ也。然(しかる)を、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)は、勝劣(しょうれつ)なき事ゆへ、多分(たぶん)中(なか)より多分(たぶん)へ、古今(こきん)序(じょ)に、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)の事を、おなじ様(やう)に書(かき)たるも、勝劣(しょうれつ)なきゆへ也。然(しかる)を、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)は、勝劣(しょうれつ)なき事ゆへ、多分(たぶん)中(なか)より多分(たぶん)へ、古今(こきん)序(じょ)に、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)の事を、おなじ様(やう)に書(かき)たるも、勝劣(しょうれつ)なきゆへ也。然(しかる)を、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)は、勝劣(しょうれつ)なき事ゆへ、多分(たぶん)中(なか)より多分(たぶん)へ、古今(こきん)序(じょ)に、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)の事を、おなじ様(やう)に書(かき)たるも、勝劣(しょうれつ)なきゆへ也。然(しかる)を、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)は、勝劣(しょうれつ)なき事ゆへ、多分(たぶん)中(なか)より多分(たぶん)へ、古今(こきん)序(じょ)に、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)の事を、おなじ様(やう)に書(かき)たるも、勝劣(しょうれつ)なきゆへ也。然(しかる)を、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)は、勝劣(しょうれつ)なき事ゆへ、多分(たぶん)中(なか)より多分(たぶん)へ、古今(こきん)序(じょ)に、人丸(ひとまる)赤人(あかひと)の事を、おなじ様(やう)に書(かき)たるも、勝劣(しょうれつ)なきゆへ也。

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50
ガラス使用

寿永元年九月廿日記事

遺老愛原朝臣宅事

于時寶治元年十一月六日於

京都宿所書写事

文永七年十二月七日被自筆本

校了

藤原朝臣為氏 判

永仁二年七月六日被自筆本

校了

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

857
50

国立国会図書館　タイトル『三五記』　請求記号 857-50

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三五記』請求記号 857-50

ガラス使用